

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 054	提案機関名 神奈川県畜産会
要望問題名 かながわ鶏の斉一性についての調査検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 平成28年度から本格的に生産が始まったかながわ鶏については神奈川県にひとかたならぬお骨折りをいただきたいへん感謝しています。 生産者組合としてはその生産基盤を確立し、流通体制の整備を行うため鋭意努力しているところです。 実際生産してみて、既存肉用鶏種（比較し）発育や肉質において若干斉一性に不足するところがあると感じます。試験研究の課題として発育や肉質肉量の斉一性を求め、飼養管理方法や掛け合わせる鶏種についても検討を行ってください。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター      ③水産技術センター      ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討      ④実施済      ⑤調査指導対応      ⑥現地対応      ⑦実施不可		
試験研究課題名      (①、②、④の場合) かながわ鶏の飼養管理技術の確立（平成29～33年度）			
対応の内容等 飼養管理については、初期の栄養管理がその後の発育に影響することから現在はヒナの栄養管理技術の改善に取り組んでおり、その結果を踏まえてかながわ鶏に適した飼養管理方法を検討します。 掛け合わせる鶏種については、種鶏の提供元である独立行政法人家畜改良センターで新しい鶏種が作出された際には、関係機関と協議しながら、検討してまいります。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			